

5年 総合的な学習の時間
2学期の取り組み①9月28日、11月4日

- (1) 目的：
- ・梨農家の方々から、仕事に対する「思い」を直接聞くことで地域の実情を知り、働くことへの意欲を高める。
 - ・今後の活動の礎となる「梨」を手に入れるために、地域の梨農家さんへ作業のお手伝いに行き、非売品の梨を作業報酬として手に入れてくることで、「働いて対価を得る」という経験をする。
 - ・働いた対価としていただいた梨を使った商品を開発し、試食会を兼ねたお礼の会をすることで、感謝の気持ちを持たせる。

(2) 授業の様子 (GTの思いなど)

これまでの5年生は地域の特産物の梨を使って「白玉の梨蜜かけ」や「梨蜜大学芋」を考案し製造・販売をしたり、八代農業高校に力をお借りし、梨ジャムを製造したりしてきた。今後いきいき感謝祭 2024に向けての「食文化創造課」活動の第一段階として、大本になる「梨」を手に入れる活動である。

6軒の梨農家さんにご協力いただき、それぞれ5人前後の児童が畑やその周辺での仕事(作業)をすることで、働いた対価の梨を手に入れて戻ってくるという内容とした。

これまでの積み上げにより、引き続きご協力いただいたところでは、更に内容も充実し、新たに摘果作業や商品出荷作業なども経験させていただくグループもあった。

また、いただいた梨を使って、いきいき感謝祭に向けた商品を開発し、その試作品(なんちゃって梨パイ)の試食会を兼ねたお礼の会を行った。農家さんたちにも好評であった。



(3) 学習の様子 (写真)

(4) 児童の感想やつぶやきなど

- ・初めて梨の収穫体験をした。楽しかったけど、梨農家の方は、お客さんのことを考えて丁寧に作業をしていることが分かった。
- ・お客さんに「おいしい」と言ってもらえることが一番の喜びと言われていた。本当においしかった。
- ・いろいろな作業があることに驚いた。休みがないのも大変だと思った。
- ・「なんちゃって梨パイ」をおいしいと言ってもらえてうれしかった。

